

## <平成 23 年度地域教育ネットワーク会議議事要旨(日南・串間地区)>

- 1 日 時：平成 23 年 8 月 18 日 (木) 15:00~17:00
- 2 会 場：日南市まなびピア
- 3 参加者：各種関係団体等代表 23 名 事務局 4 名
- 4 内 容

### (1) 開会行事

- ① あいさつ
- ② 日程説明

### (2) 事業説明

- ① 平成 23 年度生涯学習関連主要施策について

### (3) 協 議

- ① 自己紹介と日頃の活動について
- ② 子どもの 1 日の生活を支援するために、関係団体・企業等の相互連携はどうあればよいか。

### (4) 閉会行事

## 5 協議のまとめ

参加者一人一人から、日頃行っている子どもの教育支援活動について、簡単に話していただき、他の団体の活動状況を知っていただきました。その後、活動上の問題点や課題、取組の成果や今後の教育支援の在り方についての協議を行い、以下のような御意見が出されました。

### (1) 活動上の問題点や課題等について

- ・子どもたちの睡眠時間の不足
- ・知識が足りない、知恵が少ない→遊びが少ない
- ・親サイドの判断→子どもの主体性不足
- ・家庭内における親の在り方、親の姿勢の変化
- ・夫婦間の問題
- ・体験をさせる機会、場所の不足、実施の困難
- ・先を考えて行動できない

### 他の地域の取組

#### (榎原地区)

- ・地域・家庭の協力がある
- ・子どもたちも地域の一員としての使命感が高い  
→イベントの企画
- ・子どもの主体性作りにつながっている
- ・企業・地域・家庭の連携がある

※様々な取組ができていますが、立ち止まって考えることが少ない

#### (南郷地区)

- ・事業が充実してきている
- ・漁師→漁協→ダイバー→など講師の広がり  
講師等の生き甲斐を生むことにつながっている

### (2) 今後の具体的な取組等について

- ・家庭における親の在り方等に関する研修会を実施する
- ・新旧父母世代の話し合い、交流の場をつくる
- ・子どもに心に残る体験をさせる必要がある
- ・読書の質の向上、選書、投げかけ、思考を促す支援が必要である
- ・子どもを地域・家庭に帰す必要がある
- ・親の学ぶ機会をつくる→家庭教育が基本である
- ・親の待つ姿勢も必要である
- ・子どもの支援を前向きに取り組む必要がある

